

# 9月定例会

平成23年9月定例会を9月26日から29日までの会期で開きました。

今回は平成23年度一般会計および特別会計補正予算案など、提出された19議案を慎重に審議し、すべて原案どおり可決しました。

また、9月定例会は決算議会でもあり、平成22年度の一般会計と

7つの特別会計を認定しましたが、東日本大震災の影響による税の減収や、医療・介護に対する給付が増大するなど、今後の財政運営について意見が相次ぎました。

なお、一般質問では6人の議員が、町の対応や考えを問いました。



▲平成22年度一般会計決算認定採決のようす

# 48億円の成果を認定

## 5年連続で2億円を上回る～

一般会計は、約35億3109万円、特別会計は、国民健康保険など7会計合わせて約12億5949万円となり、合計約47億9058万円余の歳出決算となりました。

21年度と比べて、約2%減少しています。

これに対して、歳入決算は歳出決算を約3億9594万円上回る、約51億8653万円と

なりました。

しかしながら、一般会計と7特別会計を合わせた収入未済額（税金等の滞納など）については、約2億7200万円となり前年度を約3000万円上回りました。

町民の負担の公平性を保つためにも、収入未済額の早急な縮減が求められます。

## 平成22年度決算のあらまし



▲22年度工事の実施状況を確認する監査委員（農産物加工施設）